

# Support

<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/index.html>

No. 8

平成26年3月10日

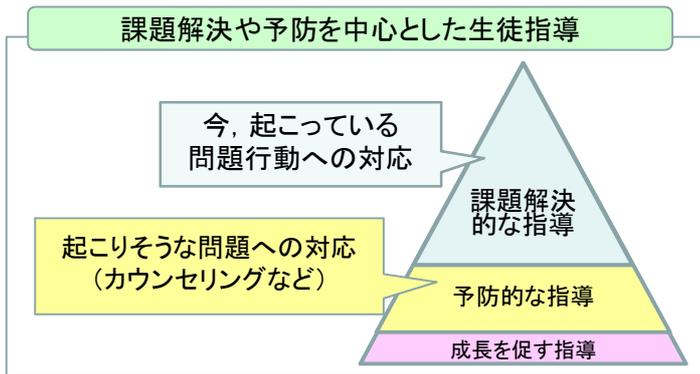
編集・発行

新潟市教育委員会

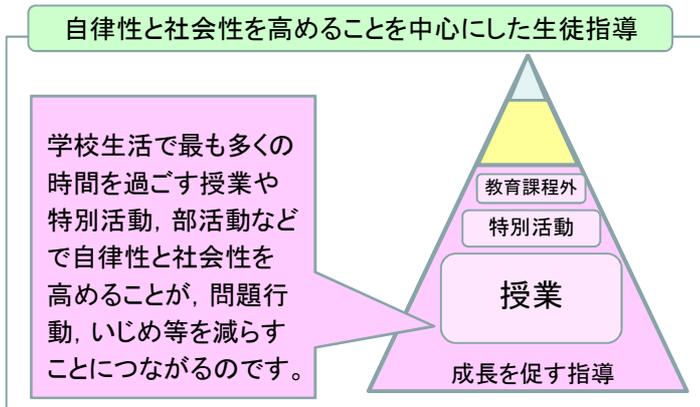
学校支援課 広報担当

## 成長を促す生徒指導

～ 授業や特別活動で生徒指導 ～



生徒指導に対する視点の転換



## 生徒指導をどのように捉えていますか？

今, 起っている問題行動への対応は, 間髪をいれず, 適切な対応が求められます。また, 問題行動が起こらないように, 子どもたちの状況をしっかりと把握し, 予防的な指導をすることも大切です。

しかし, それだけの対応で大丈夫でしょうか。課題解決的な生徒指導や予防的な生徒指導だけでは, いつまでも問題行動が起こり続ける可能性があります。最も大切なことは, 子どもたちの生活全般を安定させ, 子どもたち自身の自律性や社会性を高めることです。

私たちが, 子どもたちの自律性や社会性を高めることができる時間は, 授業や特別活動, 部活動などの時間です。それら時間を有効に使うことが重要です。

## 「新潟市の授業づくり」以外にやらないといけないの？

授業づくりリーフレットを基に進めている授業と変わりません。たとえば, 子どもが自分で考え, 発表したことを褒めたり, グループで協同して解決しているところを評価したりすることで, 生徒指導の4視点から授業が展開されたことになるのです。

詳しくは, 4月に発刊される「新潟市生徒指導ガイドブック」をご覧ください。



4月に「新潟市生徒指導ガイドブック」が発刊されます。

## 視点「生徒指導・学級経営」に基づく取組

### ファシリテーションをとり入れた授業改革の取組（白新中学校）

白新中学校では、国立教育政策研究所の教育課程研究指定校として、平成24・25年度の2年間研究に取り組んできました。どの生徒にもわかる・できる授業を目指し、「UDL」と「ファシリテーション（以下FT）」を研究の基軸として位置付けてきました。

今年度はどの教科の授業においてもFTをとり入れて、意図的・計画的な交流・検討の場が位置付くようにしました。生徒は互いの考えを付せんや模造紙上に書き出して考えを整理するとともに、よりよいまとめに向けた検討を重ねる活動を通して、自他の論点の違いを理解した上で、互いに尊重し合う話し合いができるようになってきました。



生徒の様相として、検討を通してよりよいものを創りあげたいという主体性や目的意識が向上したり、事後の充足感が高まったりする姿が観られるようになりました。また、自分の意見を受け止めてもらえた生徒は、他者の意見に耳を傾けるようになってきています。「ファシリテーショングラフィック（FG）」を効果的に用いて、議論や思考の過程が可視化されることに慣れてきた生徒は、「ペアやグループでの話し合い活動が好き」「授業中に自分の考えを進んで発表している」などのアンケート項目にも高い数値を示すようになりました。

### 学級活動の話合い活動の充実から迫る授業改善の取組（潟東東小学校）

潟東東小学校では、「楽しい学校生活をつくりあげようとする子どもの育成」を主題に、学級活動における話し合い活動を研究の中心に据えて3年になります。

本校が求めるより具体的な児童像は、次の二つです。

- ①子ども集団で、学校生活上の問題を見付けたり解決したりする。（自治的な能力、自主的な態度）
- ②自分の考えをしっかり主張するとともに、考えの違いを認め合い、話し合っ折り返いをつける。（学力向上の基盤に必要な望ましい人間関係を築く力）

本校の学級会では、一人一人の考えが観点に基づいて必ず位置付けられるとともに、その考えの良い点と問題点（本校では「心配ごと」）が確認されます。

問題点については、否定的な捉えで終わらせず、少しでも解消されるような策を賛成、反対に関係なく全員で考えます。よりよい解決に向け全員で考えを練り上げた後、集団決定を行います。

このような指導を基本形とし、全学級で継続して取り組み、研究を進めてきました。その結果、子どもが自分の考えを教師にも友達にも大切にしてもらえるとという安心感をもつようになり、学級会だけでなく他の教科等の学習においても積極的な発言、考えを深めるかわり合いが多くみられるようになってきました。充実した授業は、教師と子ども、子ども同士の関係をさらによりよいものにしていきます。本校ではよりよい授業に向かうサイクルが回り始めています。



## キャリア教育の見直し、改善をお願いします

キャリア教育は、子どもたち一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育です。それは単に勤労観、職業観のみを育てる教育ではありません。「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」、「キャリアプランニング能力」といった基礎的・汎用的能力を育てます。



年度末、次の点から自校のキャリア教育の取組について点検し、成果と課題をもとに、来年度、一層充実したキャリア教育が行われるよう、準備をお願いします。

- 「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」、「キャリアプランニング能力」の4つの観点から、教育活動を振り返り、全体計画や年間指導計画を見直し、改善する。
- 来年度、子どもたちに身に付けさせたい力を念頭に、どのような取組に力を入れていけばよいか検討し、焦点化を図る。
- 全体計画や年間指導計画等をもとにして、組織的・系統的な取組が行われているかを見直し、改善する。

## より充実した幼保小の接続のために

4月には、新1年生が入学してきます。子どもも保護者も、新しい生活が始まることへの期待をいだきつつ、不安も感じながら、この時期を迎えます。1年生の子どもたちが、新しい環境に慣れ、明るく元気に自分らしさを発揮して学校生活を送ることができるように、幼保小の接続について、より一層の充実した取組をお願いします。

幼保小の接続をスムーズにしていくために、年度末、年度初めは特に次の点をポイントに取り組んでください。

### 【年度末・年度初めにおける重点的な取組】

- 交流活動等を通して実際の子どもの姿を見た上での意見交換
- 一人一人の子どもに対する多面的で細やかな情報交換
- 適切な環境整備による受け入れ準備

また、年間を通して次のような取組ができるように、いつ、どこで行うか等、今から見直しをもって取り組むことが大切です。

### 【年間を通しての計画的な取組】

- 幼児と児童の交流活動
- 研究会、公開授業、公開保育等を通じた互いの教育活動に対する理解
- 接続期カリキュラムの編成等による指導方法や保育・授業の工夫

